

年度:2019年 LOM番号:299

【褒賞申請書】

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 事業名称  | 5月例会 新庄もがみ世代交流まつり   |
| カテゴリー | 最優秀LOM地域社会向上プログラム事業 |

|         |   |
|---------|---|
| 申請LOM   | 東北地区山形ブロック協議会 公益社団法人 新庄青年会議所                      |
| LOMの人数  | 37名   |
| 理事長名    | 小野 善弘   |
| 担当者名    | 荒木 賢人   |
| 担当者携帯番号 | 090-6228-0668 担当者E-Mail:info@mogami-maitake.co.jp |
| 事務局住所   | 新庄市住吉町3-8   |
| 事務局TEL  | 0233-22-6855 事務局FAX :0233-22-6856                 |

|                      |  |                              |
|----------------------|--|------------------------------|
| 本事業の参加者              | 会員数  | 20名                          |
|                      | 関係者数   | 168名                         |
|                      | 一般参加者数   | 692名(参考数値:ゆめりあ測定来場者数 7,590名) |
| 事業実施に至る背景<br>400文字程度 | 新庄もがみは、都市部への人口流出や少子高齢化により、人と人のつながりや助け合いの精神が希薄になってきており、持続可能な地域社会への不安があります。  |                              |
| 事業目的<br>400文字程度      | 新庄もがみに暮らす人々の世代交流を促進し、助け合いの取り組みを提案することで思いやりの輪を広げ、相互に生活不安を取り除くことで持続可能な地域社会を形成します。  |                              |
| SDG'sの該当項目           | (SDG'sの該当項目を記載)<br>4. すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。<br>4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理 |                              |

|   |   |
|---|---|
|   | <p>解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。</p> <p>5. ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。</p> <p>5. 4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。</p> <p>8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。</p> <p>8 5. 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする。</p> <p>11 3. 2030年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。</p> <p>11 a. 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。</p> |
| <p><b>事業概要</b></p> <p>400文字程度</p>           | <p>世代間交流を促進させるため、伝統芸能団体や若者のステージイベントを行い、演奏の体験も実施した。まちなか世代交流広場では、昔の遊び体験(輪ゴム鉄砲、コマづくり体験)今の遊び体験(VR)、読み聞かせ、キッズスペース、スマホ講座、妊婦体験などを実施した。ワークショップでは隠明寺凧づくり体験、布アクセづくり体験、物販では笹巻・くじら餅、山菜、木工細工、タピオカジュース、あげぱん、ババヘラアイスなどの販売と味付なめこをトッピングしたつや姫米粉うどんの振る舞いも行った。また、天童市立山口公民館館長より世代交流の取り組みについて事例を講演して頂き、高校生と市民の「世代交流で広げる助け合いの輪」をテーマにグループディスカッションを実施した。くわえて伝統芸能PRブースは8市町村の展示を行った。</p>   |
| <p><b>開催期間・</b></p> <p><b>タイムスケジュール</b></p> | <p>2019年5月19日(日)10:00～15:00</p> <p>8:30～メンバー集合</p> <p>10:00～開会式、まちなか世代交流広場、伝統芸能 PR ブース、ワークショップ、食ブーススタート</p>   |

|  |   |  |
|--|---|--|
|  | <p>10:10～はぐくみ保育園 太鼓</p> <p>10:30～新庄祭り囃子</p> <p>11:05～瀬見温泉 弁慶義経太鼓</p> <p>11:30～新庄南高校書道パフォーマンス</p> <p>12:00～鮭川歌舞伎</p> <p>13:00～天童市立山口公民館 館長講演(会議室)</p> <p>13:25～柳原番楽</p> <p>13:30～グループディスカッション(会議室)</p> <p>14:00～民謡日本一 佐藤麻衣の世界、真室川音頭</p> <p>15:00～閉会式</p> |  |
| 開催場所   | 最上広域交流センター「ゆめりあ」  |  |
| 事業区分   | 新規  |  |
| 公益・共益区分  | 公益事業  |  |
| 事業総予算・収支                                       | <p>予算計:200,000-</p> <p>支出計:200,000-</p>   |  |
| 協力団体   | 共催  | 最上広域交流センター「ゆめりあ」   |
|  | 協賛  |  |
|  | 後援  |  |
|  | その他   | <p>出演依頼:NPO 法人 はぐくみ保育園様、天童市山口公民館館長 須藤長之様、伝統芸能継承団体様(鮭川歌舞伎保存会様、金山町 柳原番楽保存会様、最上町 瀬見温泉伝統芸能保存会太鼓部会様、新庄市 松本囃子若連様)、山形県立新庄南高等学校書道部様、真室川音頭保存会様、最上総合支庁連携支援室 坂本様。</p> <p>出店依頼:叶内冷菓様、仙人ファーム様、とうふ処稼秀屋様、タスカフェ様、スタイルハート様、ネットコム様、萩野地区公民館様、最上地域女性応援会議様、ササキ酒店様、戸沢村こぶし会様、one2様、ままちゃん工房おおくら様、とらいあ様、かやのみ会様、アベルン家様、新庄最上8市町村様</p> |
| 事業対象者  | ～10代から80代～まで  |  |
| <p>行動</p> <p>(ACTION TAKEN)</p> <p>400文字程度</p> | <p>(事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動、事業後の活動について記入)</p> <p>新庄最上に暮らす中でシニア、子育て、若者世代の課題について最上総合支庁、各市町村、女性団体などにヒアリングを行った。その結果世代が繋がるために必要な場所やきっかけになる活動が不足していることであっ</p>   |  |

|                                       |   |
|---------------------------------------|---|
|                                       | <p>たため、世代交流活動である伝統芸能を広くPRすることときっかけとなる世代交流の場所づくり「まちなか世代交流広場」を提案することだと考えた。地域交流の拠点であるゆめりあの賛同を得て共催となった。VR体験・昔の遊び体験(コマ、輪ゴム鉄砲、凧づくりなど)や伝統芸能演奏体験を行い、参加もできるイベントを実施した。加えて、昨年優良公民館として山形県で唯一表彰された天童市立山口公民館館長より地域の世代交流活動の事例を講演して頂き、高校生と市民による世代交流を促進させるためのグループディスカッションを実施した。</p>  |
| <p><b>結果</b><br/><b>(RESULT)</b></p>  | <p>(目的がどのくらい達成できたか、上記の結果の想定外の結果、結果の確認方法、検証結果を箇条書きで記載)</p> <p>(KPI:参加人数:755名(新庄もがみ地域の人口75,509人の1%)<br/>(2017年度 6月例会 輝くための女性フェス in 新庄もがみ299名)<br/>アンケート回収枚数:151枚(参加者の20%想定)</p> <p>(結果)</p> <p>参加人数:880名(116%)(10時30分頃、11時50分頃、14時30分頃に目視測定)</p> <p>参考数値:会場のカウント数7,590名の出入数(5月5日で7,923名であり、ゴールデンウィーク並の数値であった。)</p> <p>アンケート回収枚数:103枚</p> <p>回答年代(~10代30、20代4、30代16、40代10、50代6、60代17、70代11、80代4、未記入5)</p> <p>回答して頂いた年代はこれまでになく幅広く、世代交流を実践することができた。</p> <p>アンケート結果では、本事業で84%の方が世代を超えて交流することができたと回答し、96%の方が世代を超えた助け合いの輪や思いやりの輪の重要性を感じる事ができたと回答した。</p> <p>自由記入欄には、「継続して実施して欲しい」との声や「世代交流の大事さについて考えるきっかけ頂いた」、「子供から老人まで参加して多くの笑顔が見られて良かった」などの声を多数頂いた。</p> |
| <p><b>地域社会への影響</b></p> <p>400文字程度</p> | <p>(この事業が与えた地域社会への影響を記入)</p> <p>幅広い世代の来場者に多様な文化に触れて頂いたことで、地域に根差した伝統や文化を再認識して頂くことができた。昔の遊び体験では、萩野地区公民館のシニア方々から若者に対して、与えられた遊び方ばかりではなく工夫の中で考えて遊ぶ楽しさを感じてもらうことが出来た。また新しい文化や情報などにシニアの方にも体験して頂けたことで、全ての人に持続可能な社会形成のための知識や情報の提供を行うことができた。</p>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>アンケートの回答者年代が若者(～10代、20代)34枚、子育て世代(30～50代)32枚、シニア(60代～)32枚とまんべんなく回答を得ていることから世代間交流の力によってイベントを成功させることが出来たと実感できた。</p>  |
| <p><b>LOMへの影響</b></p> <p>400文字程度</p>   | <p>(この事業がLOMに与えた影響を記入)</p> <p>近年当LOMでは、若者、女性などをターゲットにした事業を多く実施してきた中で本事業はシニア層にも参加して頂ける幅広い年代をターゲットにした企画として展開した。</p> <p>地域の多くの方が伝統芸能に携わり、真剣に継承の努力をされていることを知ることができ、まだまだ知られていない文化を知るきっかけになった。</p> <p>子育てについてボランティアで支援されているシニア団体が数多くあることを知ることが出来た。</p>  |
| <p><b>事業の長期的な影響</b></p> <p>400文字程度</p> | <p>(この事業の期待される長期的な影響を記入)</p> <p>伝統芸能や書道パフォーマンスなど披露する機会や宣伝する機会が限られており、多くの観客の前や各自治体の外に出て演じる機会を求めていることを知ることができ、継続的な事業の実施を希望していた。また若者世代、子育て世代、シニア世代が幅広く事業に参加して頂いたことで、お互いの世代で考えの違う部分を認識でき、思いやりや助け合いの行動について考えることができた。</p>   |
| <p><b>考察や推奨</b></p> <p>400文字程度</p>     | <p>(検証を踏まえた次の行動を記入)</p> <p>アンケート結果でも少子高齢化社会が加速する新庄もがみ地域において、世代間交流が不足しているとの声を頂き、根本的にはお互いに助け合いの精神や思いやる心を持っていながら、主体的にアクションする機会やその情報が不足していると感じることが出来た。地域社会を維持するためにも様々なアプローチ手法を用いて、限定的ではなく幅広い老若男女の交流の機会を持続的に創出することが青年経済人である青年会議所の責務のひとつであると考えられる。</p>  |
| <p><b>改善点</b></p>                      | <p>(改善点があれば記入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか世代交流広場や伝統芸能PRブースを実施した会場2階への来場者を増やすために人の誘導についてもっと工夫を凝らすべきであった。</li> <li>・チラシ裏面に当日のプログラムは記載していたが、会場全体レイアウト図を会場内にパネル等にして貼りだすとどこで何をしているかが分かり易かった。</li> <li>・各団体が他の場所での披露の機会を増やしてもらうために連絡先の掲示や情報交換ツールを作るべきであった。</li> <li>・事業風景を SNS 等を実施後すぐにアップする。</li> </ul> |

JCI活動計画の推進  
JCI VISION活動計画の推進  
JCI MISSION活動計画の推進

(事業を通じて、行ったJCIに関する推進活動を記入)  
参加した若者が、連綿と受け継がれてきた伝統芸能や昔の遊びの体験、また披露の機会やグループディスカッションなどのシニア世代との交流を通して、お互いに教え合うことで助け合い、思いやる心を育むことが出来た。

添付資料

PDF資料2MB、5ページ以内

(事業風景の写真、新聞記事、参加者や協力者から寄せられた感想文 など)  
伝統芸能やステージイベント披露について自分の市町村を超えて披露する機会は少なく、非常に良い機会を頂いたとの声を各団体様から頂いた。



新庄南高校書道部 庄巻の書道パフォーマンス  
新庄もがみ世代交流まつりを「無限大∞」の文字で表現して頂いた



今の遊びVR体験をする子供とシニア



民謡日本一 佐藤麻衣さんのステージ  
前列には福祉施設から車椅子でいらしたシニアの方も。



高校生と市民の方のグループディスカッション  
様々な視点から交流についてのアイデアを発表



## <育め、世代を超えた思いやりと助け合いの輪>

### <新庄もがみ世代交流まつり>

公益社団法人新庄青年会議所は2019年5月19日日曜日に「<新庄もがみ世代交流まつり>」を<最上広域交流センター「ゆめりあ」>にて行いました。詳細の内容につきましては、下記内容をご覧ください。

この<新庄もがみ世代交流まつり>は<新庄もがみに暮らす人々の世代交流を促進し、助け合いの取り組みを提案することで思いやりの輪を広げ、相互に生活不安を取り除くことで持続可能な地域社会を形成>を目的として開催されました。<参加人数は目標値の116%となる880名となった。また、会場の出入り人数はゴールデンウィーク並みの7,590名であり、予定を大きく上回る交流の成果に次回の開催を希望される多くの声を頂くことができた>という結果、目的を達成する事ができました。

### <新庄もがみ世代交流まつり>とは？

#### 詳細な事業内容

期日：2019年5月19日

会場：最上広域交流センター「ゆめりあ」

(事業内内容) 世代間交流の促進と思いやり、助け合いの輪を広げる交流イベントを実施した。

ステージイベント：はぐくみ保育園太鼓、新庄祭囃子、瀬見温泉太鼓、新庄南校書道パフォーマンス、鮭川歌舞伎、柳原番楽、民謡、真室川音頭

伝統芸能PRブース：8市町村の伝統芸能・観光PR

グループディスカッション：テーマ「世代交流で広げる助け合いの輪」として、地域の高校生と住民の方で行った。

まちなか世代交流広場：昔の遊び体験（ぶんぶんコマ、輪ゴム鉄砲づくり、今の遊び体験（VR等）、読み聞かせ、スマホ講座、キッズスペース、妊婦体験、子育て支援情報

食・物販ブース：タピオカドリンク、くじら餅、山菜、木工細工、つや姫米粉うどん振る舞いなど

ワークショップ：布アクセ、クラフトバンドコースター制作体験、隠明寺凧制作体験

